

林間学校 全体指導方針作成シート

学習指導要領

【学校行事の目標】

学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。

【遠足・集団宿泊的行事の内容】

自然の中で集団宿泊活動などの平素と異なる生活環境にあつて、見聞を広め、自然や文化などに親しむとともに、人間関係などの集団生活の在り方や公衆道徳などについての望ましい体験を積むことができるような活動を行うこと。

学校教育目標

学年教育目標

林間学校の目標（例）

- ・いろいろな活動に進んで取り組み、自然の素晴らしさ、地域や郷土のよさを味わうことができる。
- ・友だちとのふれあいを深め、互いを思いやり、協力して活動することができる。
- ・自分の役割を果たし、公衆道徳を守って、安全を意識して生活することができる。

整理すると、次の6つになります

活動意欲(やる気)

自然や地域、
郷土への気持ち

友情や
思いやり、協力

責任感

公衆道徳

安全意識

林間学校における全体指導方針

指導のキーワード

室長係(実行委員)が作った学年のテーマ

林間学校 全体指導方針作成マニュアル

林間学校は、学習指導要領を受けて実施されますが、初めての宿泊的行事であるだけでなく、普段の学習環境とは異なる豊かな自然の中で実施されるので、たいへん貴重な体験活動と言えます。林間学校の様々な活動を通して、児童の情操や社会性が豊かになり、心身が鍛えられ、健全に成長していくことが望まれます。そのために、学年主任が自校の児童の実態に合った全体指導方針を作成し、教師全員で共有する必要があります。以下の例を参考にして作成し、学年会議で話し合ってみてはいかがでしょうか。

【全体指導方針の例】

- ・学級や係ごとの話し合いで、場面設定を明確にすることにより、主体的に活動できるようにする。
 - ・児童全員に役割がいきわたるようにして、活動意欲を高める。
 - ・話し合いや企画の段階で児童の考えや意見を多く取り入れ、児童主体の活動になるようにする。
 - ・総合的な学習の時間で「自然や郷土」を取り入れ、事前学習を基に現地での調査活動を実施する。
-
- ・みんなで楽しめるゲームやダンス等を取り入れ、所属感を深める。
 - ・班別に体験活動を実施し、お互いに助け合い連帯感を深める。
 - ・係ごとの活動で、仕事内容を分担するだけでなく、協力して取り組めるようにする。
-
- ・係ごとに話し合った活動内容や注意事項を各学級で発表させることにより、責任を自覚して活動できるようにする。
 - ・学年のテーマから個人目標を作り、事後指導で振り返り活動をすることにより、責任感を向上させる。
 - ・学級会で、「生活の基本ルール」や「常識トレーニング」について話し合わせ、公衆道徳を意識して行動できるようにする。
 - ・学級会で、「危険予知トレーニング」を実施して、危険を回避したり、事故に対応できるようにする。

【指導のキーワードの例】

- ・一人じゃできないけど、みんなでやればできることって、きっと、あるんじゃないの？
- ・林間学校は一人で行っても楽しくないよ。みんなで行って楽しむにはどうしたらいいだろう？
- ・やる気になれば何でもできるよ。でも、調子に乗りすぎないように気をつけよう！
- ・林間学校では、一人一つの仕事があるよ。責任をもって最後までやりぬこう！

【活用方法】

- (1) 学習指導要領、学校教育目標、学年教育目標等から林間学校の目標を作成する。
- (2) 林間学校の目標を基に林間学校における全体指導方針を作成する。
- (3) 指導のキーワードは、児童に指導する際に教師が児童に対して投げかける言葉の基本形です。これらより、学年の指導方針が集約され一貫した指導につながります。
- (4) 以上を基に室長係（実行委員）が学年のテーマを作成し、全クラスで発表し、全児童で共有した上で活動に取り組むと、児童どうしが協力しながら主体的に活動することができます。